

# 平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
家庭	家庭基礎	2	2-1, 2-A

## 1. 学習の到達目標

- ・人の一生と家族・福祉，衣食住，消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の意義を理解させる。また、人権意識を持って生活する力を養う。
- ・生活課題を体験的に習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

## 2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	1 編 人とかかわって生きる 1 章 自分らしい生き方と家族 1 自分を見つめる 2 自立した生き方、共に生きる人生 3 とともに生きる家族  被服実習 基礎縫い 普通まつり・たてまつり・千鳥がけ、 ボタン・スナップ・カギホック  《期末テスト》	・男女共同参画社会について理解し個性を發揮できる社会を知る。また、性と人権について問題点をふまえて学習する。  ・基礎縫いをし、手縫いの基礎技術を身につける。
2 学 期	4 家族に関する法律 5 私たちの生活を支える労働と生活時間  被服実習 エプロン製作  2 章 子どもとかかわる 2 編 生活をつくる 1 章 食生活をつくる  《期末テスト》	・家族や家庭の意義・家族と社会とのかかわりについて理解する。 ・子どもの発達と保育、親の役割などについて理解する。  ・実習を通して、基礎的なミシンの縫製技術を身につける。  ・栄養、食品などを理解させ、食生活への関心を深める。 ・健康・安全を考えた食品選択ができる力を身につける。
3 学 期	調理実習①②③ 2 章 衣生活をつくる 3 章 住生活をつくる  《学年末テスト》	・繊維や衣服の機能、役割などについて理解する。 ・洗剤について学習し、環境問題について考える。 ・住まいについての知識や関心を深め自分たちの住まいを積極的に改善する。 ・家計管理，生活設計について具体的にとらえる。

## 3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査による評価、提出物、実習への参加など授業態度による。
------	------------------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	家庭に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	家庭生活の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	家庭に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	家庭生活の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、家庭生活の意義や、役割を理解している。

## 4. 使用教科書・副教材

使用教科書	新家庭基礎 パートナーシップでつくる未来(実教出版)
-------	----------------------------